

都道府県・ 指定都市番号	24	都道府県・ 指定都市名	三重県	研究課題番号・校種名	2 小学校
				教科名	国語
研究課題	<b>学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善に関する実践研究</b> <b>①教育課程全体に係る課題</b> (ア) 言語活動の充実を図った授業づくりにおける下記の内容についての研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本や資料を目的に応じて選んで読む能力を育む指導の在り方の工夫改善</li> <li>・本時において目的意識や必然性をもって交流するための指導の在り方の工夫改善</li> </ul>				
ふりがな 学校名 (児童数)	かめやましりつかめやまひがししょうがっこう 亀山市立亀山東小学校 (425人)				
所在地 (電話番号)	三重県亀山市本町1丁目9番9号 (0595-82-0011)				
研究内容等掲載ウェブサイト URL	<a href="http://www.kameyama-mie.jp/kblog/higashi/">http://www.kameyama-mie.jp/kblog/higashi/</a>				
研究のキーワード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙を豊かにする指導</li> <li>・対話</li> <li>・TT指導</li> <li>・国語科グランドデザイン</li> <li>・外国語活動との関連</li> </ul>				
研究結果のポイント	<p>○語彙を豊かにする指導の工夫改善を行った結果、児童が文章の内容をよりの確に理解するとともに、自分の考えや思いを適切に表現し、確かめ、深めることにつながった。</p> <p>○授業づくりの中で、言語活動の設定と単元構想の工夫、他者との対話を重視した授業スタイルの確立、児童一人一人のつまずきの予想と効果的なTT指導の工夫などに取り組んだ結果、児童が見通しを持ち、より主体的に学習に取り組むことにつながった。</p>				

## 1 研究主題等

### (1) 研究主題

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む力の育成  
～語彙を豊かにする指導の工夫改善を通して～

### (2) 研究主題設定の理由

本校においては、平成 29 年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙調査の「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」の設問に対し、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の割合が、県・全国平均に比べ有意に低かった。そこで昨年度は「目的に応じて読み、自分の考えを広げ深める学習指導の在り方」を研修主題に設定し、特に「読むこと」の指導において付けたい力に適した言語活動を設定し児童の意欲や目的意識を引き出し、他者との対話が展開される授業づくりの研究に取り組んだ。その結果、

◎単元のねらいの明確化、指導事項に適した言語活動の設定、言語活動モデルや学習計画表の提示、一人一人のつまずきへの予想と指導のひと工夫などの手立てをとることは、児童が目的意識を持って図書や資料を選んで読み、自分の考えを持つのに有効であった。

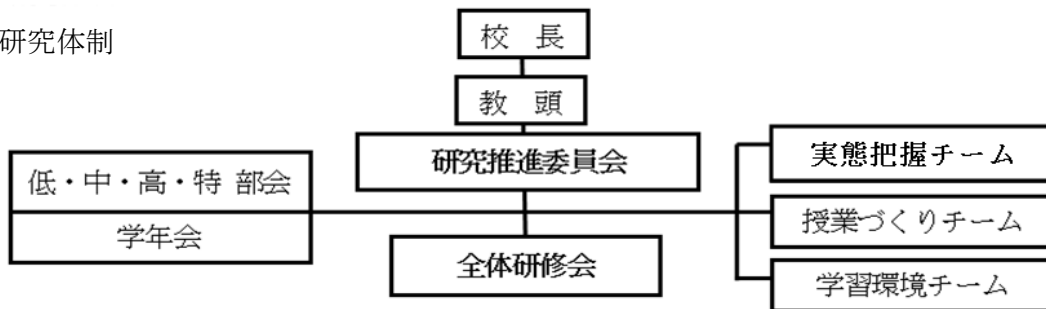
◎ペア、グループでの話し合いの場を設定し目的に応じて他者との対話を大切に授業づくりを進めたことは、自分の考えを広げたりより明確にしたり新たな考えを生み出したりする児童が増え、自分の考えを広げ深めるために有効であった。

等の成果が得られた。

しかし、平成30年度全国学力・学習状況調査において、国語B問題「C読むこと」ウに関する設問の正答率は県・全国平均に比べて有意に低い結果となり、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することはできていても、自分の考えや意見を適切な語句を使い、決められた文字数や短い文でまとめることができていない児童が多いことが明らかになった。これは、これまでの本校の取組の中で、児童が正しく理解できる語句を増やすための指導や、それらの語句を多様な場面で理解し使える「語彙」として高めるための指導が不十分であったことが大きな要因であると考えられた。

そこで本年度は、児童が文章の内容を的確に理解し自分の考えを表現するための語彙を豊かにする多様な活動を取り入れた指導の工夫改善に取り組み、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む力」をさらに高めたいと考え、本研究主題を設定した。

(3) 研究体制



(4) 2年間の主な取組

平成 29 年 度	4月	研究概要の周知，連絡協議会参加
	5月	研究推進計画，児童・教職員アンケート実施 県指導主事を招聘した授業づくりに関する研修会を実施
	6月	第1回研究授業 【单元名】心に残ったことをもとに，物語を紹介しよう 【教材名】4年上「一つの花」(光村図書)
	8月	読書指導・図書館活用研修会，全国学力・学習状況調査結果分析
	10月	第2回研究授業 【单元名】やくになりきって，音読げきをしよう 【教材名】2年下「お手紙」(光村図書)
		先進校視察(播磨町立播磨南小学校)
	11月	調査官指導訪問・第3回研究授業及び全学級授業公開 【单元名】作品の世界を味わい，自分の感じたことを朗読で表現しよう 【教材名】6年下「やまなし」「<資料>イーハトーヴの夢」(光村図書)
		先進校視察(播磨町立播磨南小学校)
	12月	学習指導案検討・協議(5・6年)
	1月	授業改善研修会(県)＊授業公開(5・6年)，菊池調査官による講演会
	2月	研究協議会(東京)への参加
	3月	児童・教職員アンケート実施・分析 本年度研究のまとめ・次年度研究推進計画の立案
	平成 30 年 度	4月
5月		各学力調査の自校採点結果をもとにした課題分析 「ことば温泉タイム」(短時間学習)の計画作成・実施
6月		第1回研究授業，※担当教科調査官指導訪問① 【单元名】心に残ったことをもとに，物語をしょうかいしよう

	<b>【教材名】</b> 4年上「一つの花」(光村図書)
7月	「国語科グランドデザイン」の検討 「国語科年間指導計画」の改訂 「読むこと」単元についての「指導事項配列表(新学習指導要領)」の作成
8月	学習指導案検討・協議(2年・3年・5年), ※担当教科調査官指導訪問② 全国学力・学習状況調査等結果からの課題分析
9月	公開授業研究会(12月)開催に向けた計画・準備
10月	研究基調, 学習指導案等の検討・協議
11月	国語科授業改善研修会(県)参加: 伊賀市立友生小学校
12月	国語科公開授業研究会開催 ※担当教科調査官指導訪問③
1月	本年度研究の成果・課題についての検討, 第2回「みえスタディチェック」実施
2月	研究協議会(東京)への参加
3月	本年度研究のまとめ・次年度研究推進計画の立案

## 2 研究内容及び具体的な研究活動

### (1) 研究内容

児童が文章を的確に理解し, 自分の考えを効果的に表現するための語彙を豊かにする指導の工夫改善を行う。さらに, 国語科「読むこと」の指導において, 付けたい力に適した言語活動を設定して児童の意欲や目的意識を引き出し, 「他者との対話」が展開される授業づくりを進めることで, 児童が文章の内容を的確に押さえ, 自分の考えを明確にしながらか読む力を高め, 自分の考えをより広げ深めるための指導の在り方を追究する。

#### ①語彙を豊かにする指導の充実

- ・言葉への関心を高め広げる学習環境の設定(掲示物, 図書, 資料等の整備)
- ・朝学習「ことば温泉タイム」を活用した語彙学習の工夫
- ・語彙の指導事項に沿った小単元学習における取り立て指導の充実
- ・「読むこと」等の単元学習の中での取り上げ指導の工夫
- ・他教科・領域および総合的な学習の時間等において語彙を使って表現する場の設定

#### ②「目的に応じて, 自分の考えを明確にして読む力」を高めるための授業づくり

- ・指導事項に適した言語活動の設定と単元構想の工夫
- ・対話的な学びの中で自分の考えを広げ深める授業スタイルの確立
- ・児童一人一人のつまづきを予想し, 効果的に支援する TT 指導の工夫

### (2) 具体的な研究活動

#### ①語彙を豊かにする指導について

- ・各学年で押さえない語句や表現について洗い出し, 教室に掲示し, 児童が日常的に活用できるようにした。また, 1・2年生から個人で国語辞典を持たせ, さらに3年生以上は類語辞典も活用し, 様々な語句を使った表現を知ることができるようにした。
- ・朝の学習時間のメニューに「ことば温泉タイム」を取り入れ, 発達段階に応じ語彙を豊かにする活動を用意して取り組ませた。児童が調べたり学んだりした語句や表現は「ことば温泉」ブックに綴じてページを増やしていき, 手元に持つことで, 日常的な活用が出来るようにした。
- ・当該単元で押さえない語句や表現について学習指導案にも明記し, 学年全体で共通意識を持って指導に取り組んだ。また, 「読むこと」等の各単元と「ことば温泉タイム」の活動との関連を年間指導計画に明記し, 授業での取り上げ指導に生かせるようにした。
- ・他教科・活動の授業, 特に外国語活動と国語科の活動の関連を年間指導計画に明記し, 双方

で培った言語能力を活用できるよう、意識して指導した。

②「目的に応じて、自分の考えを明確にして読む力」を高めるための授業づくりについて

- ・「読むこと」に関する単元の指導事項配列表を、新学習指導要領に合わせて見直し、改訂し、各単元の重点指導事項について確認・共有した。
- ・授業のねらいや発達段階に応じた対話のあり方について、研究授業等をもとに全体で話し合い、共通認識を持てるようにした。
- ・児童一人一人のつまずきの予想と、それに対する手立てを「指導のひと工夫」として指導案に明記するとともに、効果的なT1・T2の役割分担についても明記し、指導者同士が事前に共通理解を図った。

### 3 研究の成果と課題（○成果●課題）

<成果>

#### (1) 語彙を豊かにする指導の工夫改善について

- 「ことば温泉タイム」等、児童が語句や表現について考えるための時間を設定し、各単元の授業と関連を図った計画的・意図的な指導を行うことにより、児童の言葉に対する意識が高まり、文章を何度も読み返しその内容を正しく読み取ろうとする児童や、自分の考えや思いを様々な語彙を使って他者と対話したり、表現したりしようとする児童が増えた。
- 各単元で身に付けさせたい語彙を明確に設定し、授業の中での取り上げ指導を意識した授業の流れを考え、意図的・効果的に指導を進めることで、児童が意味を理解できる語句の量を増やすだけでなく、単元の最後には自分の表現に活用できる語彙として高めることにつながった。

#### (2) 「目的に応じて、自分の考えを明確にして読む力」を高めるための授業づくりについて

- 新学習指導要領の指導事項に合わせ、各単元の重要指導事項を明確にすることで、単元のねらいが明確化し、児童が付けたい力を獲得するのにより適した単元構想や言語活動、指導の手立てを設定できた。
- 授業のねらいや発達段階に応じた対話の在り方を吟味し、授業の中で継続的に取り組んできたことで、進んで他者と対話し、自分の考えを広げ深めようとする児童が増えた。

<課題>

- それぞれの児童が持つ語彙の質や量は個人差が大きく、全員が必要な語句や表現を身に付けたり活用したりできるまでにかかなりの時間がかかる。また、それぞれの児童の実態に応じたきめ細かな支援方法の工夫も必要となり、TT指導ができない学年においては、対応が難しい場合が多い。

### 5 今後の取組

- 「ことば温泉タイム」等の語彙の取り立て指導と、各単元の授業の中での取り上げ指導との効果的な関連を図るため、本年度作成した年間指導計画を検証・改訂する。
- 低学年からの継続的な語彙指導の充実を図るとともに、個人差に対応した支援方法の工夫改善について研究を深める。

### 6 研究協議会の中で協議したいこと

- 児童の語彙を豊かにする取り立て指導と授業中の取り上げ指導との効果的な関連の図り方。
- 一人一人の児童が自分の考えを適切に表現するための、効果的な支援方法について。